

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 249

2016年

3～4月号

行 事 案 内

3月手賀沼探鳥会

期 日 3月13日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 寒さが和らぎ、草木が芽吹いて、戸外での活動が楽しくなってきます。冬鳥たちは北帰行の時期。名残惜しいですが、一方で、小鳥の囀りを聞くという楽しみも。早春の手賀沼を満喫しましょう。
解 散 正午
担 当 小林(寿)、野口(紀)

4月手賀沼探鳥会

期 日 4月10日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 冬鳥が去り、夏鳥までの端境期となりますが、思わぬ渡りの鳥に巡り合えるのもこの時期の楽しみです。運が良ければカムリカイツブリの夏羽に会えるかもしれせん。春風を受けながら湖畔の探鳥を楽しみましょう。
解 散 正午
担 当 小澤

3月、4月ピオトープ調査

期 日 3月3日(木) 雨天延期
4月7日(木) 雨天延期
集 合 手賀沼ピオトープ 午前9時30分
案 内 3-4月は沼、池でカモ類、カイツブリ、オオバン、カモメ類が、草原でアオジ、オオジュリン、ホオジロ、カシラダカ等が、田ではツグミ、タヒバリ等が観察できます。上空をトビが飛びます。4月にはウグイス、キジの鳴き声が聞こえるようになります。3月は早春の草花が咲き始め、土筆も出ます。4月には桜、柳の花が、春の七草の花が咲きます。春を実感しながら、手賀沼ピオトープ周辺の探鳥をしてみましょう。昨年3月は17種、4月は22種の野鳥を観察しました。参加希望の方は下記までご連絡下さい。
解 散 午前11時30分
担 当 鈴木静治
Tel : 080-3121-4757

3月、4月手賀沼定点カウント

期 日 3月5日(土) 雨天延期
4月2日(土) 雨天延期

集 合 我孫子市役所 午前 9 時
 解 散 正午予定
 担 当 田中功、金子雅幸、船津登、桑森亮
 連絡先 桑森亮
 Tel : 04-7182-3149

銚子・波崎カモメ探鳥会

期 日 3月6日(日) 雨天中止
 集 合 我孫子駅北口 午前7時30分
 案 内 銚子漁港は日本有数のカモメ観察のメッカで、3月になると渡りのカモメが終結し膨大な数になります。カモメの基本8種をはじめホイグリンカモメやカナダカモメなど珍しい種も毎年観察されています。カモメは種類だけでなく年齢によって羽色が変わり識別が難しいですが、だからこその楽しみもあります。カモメウォッチングで識別にもチャレンジしてみましょう。
 交 通 自家用車分乗です。便乗者は一人1,500円を運転者にお渡しください。申し込みの際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡ください。
 持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可)
 申 込 相良直己まで
 Tel : 04-7191-3108
 担 当 北崎正典、桑森亮、相良直己
 追 伸 開催まで期日が無いため、今回に限りメールでのご案内を先に行っています。ご了承ください。

葛西臨海公園探鳥会

期 日 4月24日(日) 雨天中止
 集 合 我孫子駅改札口 午前8時
 案 内 シギチ渡り探鳥の定番となった春の葛西臨海公園を3年振りに訪れます(前回春季探鳥は2013年4

月20日)。当日の干潮時刻は12:20頃とのことですので、天候にさえ恵まれば、干潟に集う多くの鳥たちを観察できることが期待されます。鳥類園には、キンクロハジロ、ハシビロガモなどのカモ類が残っているかもしれません。

交 通 我孫子 8:06(千代田線) 8:21
 新松戸 8:24(武蔵野線、東京行き)
 8:57 葛西臨海公園
 持 物 観察用具、雨具、昼食(葛西臨海公園駅の売店で購入可)
 申 込 千葉洋まで
 (できるだけメールにてお願いします)
 Tel : 090-2434-4937
 担 当 船津、千葉

3月役員会案内

日 時 3月13日(日) 13:00~16:00
 (開始時間に注意!)
 場 所 水の館3階研修室
 議 題 平成28年度定期総会について
 ・平成28年度定期総会次第
 ・平成27年度事業報告・決算報告(案)
 ・平成28年度事業計画・予算(案)
 会報250号掲載予定記事について
 第18回「野鳥サロン」について
 報告事項
 ・対外対応状況 他
 その他(議題のある場合は桑森までご連絡ください。)

第17回「野鳥サロン」のご案内

第17回野鳥サロンを下記日程にて開催いたします。
 テーマは、
 チョウゲンボウの観察記
 野口幸子さんによって描かれた野鳥

の2本立てで行います。

は、柏駅に近いビルの換気口で営業、繁殖するチョウゲンボウの様子を約1年にわたって観察し、記録した観察記を紹介します。

は、元会員の野口幸子さんが描いた野鳥の絵を宮下様がDVDにまとめたものを上映します。

日時 3月26日(土) 10:00~12:00

場所 水の館 3階研修室

Tel: 04-7184-0555

会費 一人300円(茶菓代ほか)

担当 小林(寿)、野口(紀)、北崎

締切日 3月20日(日)

申込 北崎正典

Tel: 080-5186-2665

申込みは極力メールでお願いいたします。平日仕事中は携帯電話に出られない可能性があります！

平成28年度定期総会

日時 4月10日(日) 13:30~15:00
場所 水の館 3F 研修室
議題 平成27年度事業報告、決算(案)
平成28年度事業計画、予算(案)
役員改選
その他

<総会終了後>

~台湾の美しい鳥、珍しい鳥のスライドショー~ 上映

2016年1月11日から16日に当会の公式行事として初めて開催した台湾探鳥会において参加者が撮影した野鳥の記録写真を纏めたスライドショーを上映します。台湾の色鮮やかな美しい鳥、日本ではなかなか見られない珍しい鳥たちをお楽しみください。

行事報告

12月手賀沼探鳥会

日時 2015.12.13 9:00~11:50

小雨 微風 11

この日は小雨模様となり、コンディションはあまり良くありませんでしたが、今年最後の定例探鳥会でもあり、中止の声はなく予定通りの探鳥会となりました。出発前から集合場所の市役所前で小鳥が6種見られ、小雨の中でも期待が膨らみました。

参加者にはJBFで入会された方と親子探鳥会に参加された方各1名、計2名の初参加がありました。

上沼では水面にカモが浮かび、オカヨシガモが目立ちました。いつものミサゴとハヤブサも姿を見せ、探鳥会を盛り上げてくれました。葦原ではホオジロが多く、きれいな姿を現してくれました。

下沼ではいつもと場所を変え、染井入落しを訪れました。カモ類はそれなりに浮かんでい

ますが、小雨が煙る中で種別の判断が難しい中、マガモが多くいたようでした。期待のミコアイサを探しましたが、雨脚が強くなり少し早めに切り上げました。

全体を通してはカンムリカイツブリが相変わらず多く、カワセミも何度か見られましたが、冬の名物ミコアイサには出会えず、来年に宿題を残して今年の定例探鳥会を締めくくりました。

<認めた鳥> コブハクチョウ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、キンクロハジロ、スズガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、チュウヒ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計

42種 番外：カワラバト

<参加者> 間野吉幸、大久保陸夫、森本宜久、野口隆也、村瀬和則、徳重玲子、常盤孝義、千葉洋、榎本右、北原建郎、松田幸保、相良直己、鈴木静治、金子幸子、小澤淳宏、北崎正典、田丸喜昭、六角昭男、野口紀子、小林寿美子、船津登、小玉文夫、小坂忠久、岩田孝之（担当）桑森亮 参加者 25名

12月 手賀沼定点カウント

調査日時 2015.12.12 9:00 ~ 13:00
晴 風 次第に強く 15

カモ類、ユリカモメ、カンムリカイツブリの数が増えカウントを終えるのに時間が掛った。オカヨシガモが60羽を超える群れでいる嬉しいことがあった。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	6	27	33
オカヨシガモ	62	9	71
マガモ	0	62	62
カガモ	48	29	77
オカガモ	0	4	4
コガモ	109	40	149
ホシバジロ	0	6	6
キンクロハジロ	0	4	4
ミコアイサ	4	6	10
カイツブリ	8	6	14
カンムリカイツブリ	47	65	112
ハジロカイツブリ	2	2	4
カワ	20	50	70
アオサギ	13	5	18
ダイサギ	6	4	10
コサギ	4	13	17
クイ	1	0	1
バン	2	2	4
オバン	31	86	117
ユリカモ	37	22	59
セグロカモ	2	1	3
合計	402	443	845

<調査者> 田中功、桑森亮、船津登、金子雅幸 計4名

12月手賀沼ビオトープ調査

調査日時 2015.12.4 9:30 ~ 11:15
快晴 強風 14 ~ 16

12/3 調査予定日が雨天のため、12/4 に延期し実施しました。強風のため沼は白波が立ち岸近くを飛ぶカワウ、コサギが見られる程度でカモ類は見られません。田起こし、二番穂の田ではその上を飛ぶハクセキレイ、杭に止まり地鳴きするホオジロが観察出来ました。ビオトープでは葦の茂みの中を動くスズメの群れ、地鳴きするホオジロ、池の水面に浮かぶ草の種を採食するコガモの群れ、魚を狙うコサギ、アオサギ、水面上を鳴きながら飛ぶカワセミ、空を飛ぶカワウ、コブハクチョウ、ツグミ、トビ、ハシボソガラスが観察出来ました。斜面林は緑の中に紅葉、黄葉が混じり綺麗。その上を調査範囲外ですが、カラス、タカが舞う。範囲外の田の上空をノスリ、30羽近くのユリカモメが上昇する気流に乗り舞っていました。調査範囲内で観察した野鳥16種132羽、他に木の花実9種、野草の花実14種、蜻蛉1種、バッタ1種、小動物1種を観察しました。

<認めた鳥> コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、カワウ、アオサギ、コサギ、オオバン、トビ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、ホオジロ 計16種132羽

<調査者> 鈴木静治、船津登、百瀬喬

1月手賀沼探鳥会

日時 2016.1.10 9:00 ~ 12:00
快晴 無風 11

昨年後半は雨にたたられた定例探鳥会は、今年は快晴のなかでスタートできた。第2機場に到着早々ツミを見た幸運組もあり、遠くにはノスリを確認した。遊歩道では頭上を飛ぶハヤブサ、数が増えたカンムリカイツブリやオカヨシガモなどを。ヒドリ橋では近くの鉄塔のハヤブサ、遠くのみサゴを見ることができた。お立ち台ではやや遠かったが、カモの集団、ミコアイサを見て帰路についた。

<認めた鳥> コブハクチョウ、オカヨシガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、スズガモ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ミミカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、ツミ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計44種 番外 アヒル、カワラバト

<探鳥班> 武藤康之、野口紀子、渡辺公子、西城猛、石渡成紀、森本宣久、類地佑子、徳重玲子、相良直己、小川克子、宮下三禮、木村稔、間野吉幸、常盤孝義、玉井修一郎、小玉文夫、小澤淳宏、野口隆也、小林寿美子、千葉洋、野倉元雄、北崎正典、桑森亮、佐藤弘美、田丸喜昭、田丸メリールイス、小林博之、古出洋子、横尾佳代子(担当)松田幸保 参加者30名

1月手賀沼定点カウント

調査日時 2016.1.9 9:00 ~ 13:00
快晴 微風 7

天候は良好なるも朝方、水上スキーをされた影響か、上沼はカモも少なく寂しい状況。カウント班を交代してから初めて1000を超える鳥数だった。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	7	14	21
オカヨシガモ	58	0	58
ヒドリガモ	0	7	7
マガモ	2	65	67
カルガモ	26	11	37
コガモ	227	67	294
ホシハジロ	1	10	11
キンクロハジロ	0	9	9
ミコアイサ	1	5	6
カイツブリ	23	22	45
カンムリカイツブリ	32	14	46
ハジロカイツブリ	2	2	4

カワ	47	48	95
アサギ	16	3	19
ダイサギ	3	2	5
コサギ	2	6	8
バン	3	0	3
オオバン	15	135	150
ユリカモメ	25	88	113
セグロカモメ	3	0	3
合計	493	508	1,001

<調査者> 田中功、桑森亮、船津登、金子雅幸 計4名

1月手賀沼ピオトープ調査

調査日時 2016.1.4 9:30 ~ 11:00
快晴 無風 10 ~ 16

朝は冷えましたが、日中は風もなく暖かい日になり、夕方は観察できませんでしたが、鳥の出かたは良好。沼の岸近くの葦の茂みにオオバン、カイツブリが動き、水上をユリカモメ、セグロカモメ、カワウ、コブハクチョウが飛ぶ。ピオトープは枯草に覆われるが、池にコガモ、カルガモ、バン、オオバン、ミコアイサが泳ぎ、コサギ、ダイサギ、アオサギが餌獲り。木にスズメ、ホオジロ、ツグミが止まり、葦の茂みにアオジ、ホオジロ、オオジュリンが動く。カワセミ、モズが飛ぶ。林にはヒヨドリが鳴く。水田は二番穂の田もありますが、一部の田は土を入れ畑にする模様。田では殆ど鳥が見られない。暖かく正月三箇日も過ぎたためか散歩、自転車の通行が多かった。観察した野鳥25種161羽、他に木の花2種、実2種、野草の花4種、実5種、ミノムシ1種も観察出来ました。

<認めた鳥> コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、ミコアイサ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計25種161羽。

<調査者> 鈴木静治、間野吉幸、船津登、金子雅幸 計4名

小見川・神之池・江戸崎 探鳥会

12月23日

たくさんの猛禽類を観察でき大満足

大隅政孝

この探鳥会は、毎年正月第一日曜日開催の新春探鳥会だそうですが、今年は曜日の関係で年末開催となり初めての参加の機会に恵まれました。肌寒い曇りの日でしたが、夕方まで雨の心配はなく、参加者20名、5台の車に便乗して定刻8時に我孫子駅を出発しました。毎年55種類の鳥が記録されているとのことワクワクしながらの参加となりました。まず着いた小見川の利根川堤防では、これまで見たことのないたくさんのタカ類に遭遇できました。優雅に飛んでいる姿を写真に捉えたかったのですが、同乗者の中根さんの写真のように捉えられず、まだまだ写真の経験を積まないと満足できないことがわかりました。次の観察地は神之池、たくさんのカモ類が観察できました。相変わらず曇りの天気でしたが、風もなくそれほど寒くもなかったため、十分な時間観察ができました。特にカイツブリ類はカイツブリ、アカエリカイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリの4種類同時に観察でき、見分け方を教わり違いがよくわかりました。

最後の観察地は江戸崎、毎年オオヒシクイの観察ができ、今年もたくさんの数のオオヒシクイが飛来しているとのことでしたので、期待しておりましたが、当日は朝農耕機が農地に入ったとのことで、すべての鳥が飛んでしまって1羽もいなくなっていました。監視員の方の話では戻ってくるのは翌日の朝とのことで、あきらめるしかなく次の機会に持ち越しでした。最後の最後がちょっと残念な結果になりましたが、最後まで雨が降らず探鳥を予定通り行えたことはラッキーでした。

鳥合せの際、タゲリもいたとのことでしたが見られなかったのが残念です。観察できた鳥は49種昨年より少し少なかったですが、満足できる探鳥会でした。

今回は間野さんの車に乗せていただき、また同乗の中根さんと津村さんからいろいろな話を聞かせていただき、楽しい時間を過ご

せました。皆さんありがとうございました。

【幹事報告】

これまで毎年新年に実施していた探鳥会ですが、2016年1月の第一日曜日は正月三箇日に入るため、今回は年末23日になりました。総勢20名、車5台で定刻通り8時からスタートし、途中休憩地は今年4月に開業した道の駅「発酵の里こうざき」に立ち寄りしました。この道の駅は町おこしで話題になり人気もあるようで、レストランに地元の野菜や発酵食品等の市場の他コンビニも併設されており、昼食のお弁当を調達し、買物の時間も少しとりました。

最初の探鳥地の小見川の利根川堤防ではいつもの通りチュウヒの密度が高く、良く出現してくれました。次の探鳥地神之池では、カモの種類と羽数も多く、目玉のミコアイサは例年より数は少ないものの小さな群れが、また今年もヨシガモが近くで観られて皆さん満足の様子でした。加えてアカエリカイツブリ2,3羽が直ぐ潜ってしまいながらも姿を楽しませてくれ、神之池では初めての観察記録かも知れません。

神之池で昼食後、浮島に場所を移して休憩と葭原のタカを観察し、ここでもチュウヒとミサゴが大サービスでチュウヒはV字飛翔を何度も見せてくれました。その中でも、頭の白い幼鳥や全体に白味の強い個体も現われ、目を楽しませてくれました。

最後の探鳥先はこの探鳥会の目玉の江戸崎の稲波干拓地です。ここは関東唯一の亜種オオヒシクイの越冬地で、毎年数が増えつつあるようです。期待して現地に着きましたが、何故かオオヒシクイの姿が見えません。現地を見守っている江戸崎雁の郷友の会の方の話では、午前中に農作業の車が入りオオヒシクイが飛び去ったとのことで、残念ながら空振りとなってしまいました。しかし、オオヒシクイは確実に増えており、今年は135羽を確認しているとのこと、観察はまたの機会にお預けとしました。

最後はいつもの「水と緑のふれあい公園」でハシビロガモとカワセミを観て、鳥合せでは49種と例年のように50種超とはいきませんでした。それなりの成果で今年最後の探鳥会を締めくくりました。

天気は終日曇りでしたが、それほど寒くは

なく、雨が降り出す前に探鳥会を終了し、我孫子に着く頃に小雨が降りはじめました。今年の探鳥会は何度か雨に祟られましたが、来年は雨が避けられ良い年になるように願い報告とします。

<認めた鳥> オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、アカエリカイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、カワウ、ウミウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、タゲリ、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、チュウヒ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、アカハラ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、ホオジロ、オオジュリン 計 49 種 番外 シナガチョウ、カワラバト

<参加者> 多葉田五男、相良直己、渡邊俊文、田中功、鈴木裕爾、鈴木幸子、吉田隆行、間野吉幸、中根忠、大隅政孝、津村勝吉、小澤淳宏、船津登、仲澤成二、浅野利幸、松本勝英、小玉文夫、大久保陸夫（幹事）松田幸保、桑森亮 計 20 名

台湾探鳥会

1月11日～16日

初の会公式行事となり、参加の皆様への熱いメッセージが寄稿されました。

それにより、249号の別冊として編集することにいたします。

参加されなかった皆様も台湾の鳥類の豊かさ、道中のサプライズを、同封の別冊にてお楽しみください。 <編集担当>

筑波山探鳥会

1月24日

1/24(日)筑波山探鳥会は 21 名の参加予定でしたが、問い合わせたところ、筑波山の御幸ヶ原の根雪+みぞれのため、足元が大変滑り

やすく、風も 9メートル/秒前後の強風が予想され、麓の筑波山神社でも 7~8メートル/秒の強風が予想されたため、大変残念ですが中止となりました。

担当：石渡成紀、野口隆也

芋煮会と岡発戸・都部谷津探鳥会

やはり、1年は芋煮会で ㄨ。

前日の強風も止み、快晴無風と最高の天気にも恵まれ探鳥会をスタートした。今年の暖冬と良すぎた天気の為、猛禽類は全く飛ばなかったがカシラダカ、ベニマシコ、シメなど一応の冬鳥を見る事が出来、探鳥としてはままず。

一方料理奉行の方々は、探鳥組の到着を遅らせて貰ったお蔭でゆっくりと下準備を整え、全員が揃った 11 時、間野会長の挨拶と乾杯で芋煮会を開宴した。

今年は料理奉行の要請から出来上がった料理をデリバリーする事とし、その間皆さんにはゆったりと懇談をして頂いた。又設置したメッセージボードには、差し入れ情報と帰りのバス時間を掲示した。今年も 10 名を超える方々から、ワインや日本酒などの差し入れを頂いたが、盛大に盛り上がった会場ではそのほとんどが参加者の胃袋へと消え、恒例の競売ではわずかなお茶とお酒が掛けられただけに終わった。もちろん料理各種もすべて完食状況で、味・量共に全員大満足の内に、野口副会長の「来年も良い鳥見をしましょう」を含めた 1 本締めで、1 時半過ぎ楽しんだ 33 回目の芋煮会も無事散会となった。

<認めた鳥> コブハクチョウ、キジバト、カワウ、コサギ、コゲラ、モズ、オナガ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ 計 28 種

<参加者> (探鳥) 阿保進、大隅政孝、金子智恵子、木村稔、小坂忠久、小玉文夫、小玉信子、小林秀美、小林博之、相良直己、相良純子、相良真帆、杉森文夫、染谷迪夫、多葉

田五男、玉井修一郎、西嶋昭生、野倉元雄、橋本清、橋本了次、村井みとい、渡辺公子、渡邊俊文、(直行)青木典子、浅野利幸、石井俊子、石渡成紀、岩田マキエ、大久保陸夫、小澤淳宏、金子幸子、金子雅幸、川上千里、川越久枝、北崎正典、桑森亮、古出洋子、小林寿美子、鈴木静治、田中功、千葉洋、仲澤成二、中西栄子、野口隆也、野口洋子、野口紀子、船津登、松本勝英、松本葉子、松田幸保、間野吉幸、間野一江、間野徳教、間野天翔、間野結衣、類地佑子、六角昭男
以上 57 名 (記：金子雅幸)

第 16 回「野鳥サロン」

第 16 回野鳥サロンが 1 月 26 日(火)に、並木本館多目的ホールで実施されました。今回のテーマは「野鳥の興味深い生態」と「野鳥すごろく」でした。

「野鳥の興味深い生態」はダイサギの座禅日光浴に始まり、ジョウビタキ等の鏡攻撃、タカ類のネズミ捕食の決め手、人間の個体を見分けるカラス・コサギの例、氷上で遊ぶオオバン、落雁に似たサギの埒入り等々、写真による紹介もあり、参加者からの見解も披露され、大いに盛り上がりました。

加えて「野鳥の知力」についてカケス、カラス、カササギの外国での研究成果が紹介されました。

なお、手賀沼・大津川で話題の特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」をコブハクチョウは好まないようですが、オオバンが食べている実態を定例探鳥会で目撃したことが紹介されました。(さすが！我孫子市の鳥?)

「野鳥すごろく」は正月に因んだ初めての試みのゲームで、手作りのさいころを投げると 5 種類の野鳥に関する質問が出され、各チームで解答できると決められた数だけ前に進めたり、逆に戻されたりするものです。極めつけは残りの 1 種類「ナガエツルノゲイトウ」が出ると、ドボン！ということで、折角ゴールに近づいたチームが即失格・退場になり、皆さん子供に戻ったような状況でした。知識とゲームの楽しい 1 日でした。

<参加者> 間野吉幸、小林博之、田中功、野口紀子、類地佑子、桑森亮、古出洋子、青木

典子、千葉洋、畠中暁美、金子雅幸、関口小夜子、野倉元雄 (担当)小澤淳宏、石井俊子、野口隆也 計 16 名

長寿大学探鳥指導

12 月 24 日、明け方までの雨で探鳥は危ぶまれ鳥談義も覚悟したが、生徒さん達の強い希望で探鳥会を実施した。幸い足元も懸念した程の事も無く、風も無い穏やかな中での鳥見となった。谷津田でもこの暖冬の影響が鳥が少なく感じたが、それでもカシラダカ、カワラヒワ、エナガなどはかなりの数を確認出来た。事前に写真付きのチェックリストと谷津田についてのレジュメを読んで貰っていた為、短時間の散策であったがそれなりに谷津田の自然と鳥に対し、幾らかの興味を持って頂けた様子が伺えた。

<認めた鳥> キジバト、コゲラ、カケス、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ 計 22 種。

<参加会員> 金子幸子、木村稔、桑森亮、染谷迪夫、船津登、松田幸保、松本勝英、間野吉幸、類地佑子 (担当) 金子雅幸 計 10 名

市民手賀沼船上探鳥会

1 月 31 日、我孫子市環境レンジャーとの共催事業として行われました。

昨年に引き続いて船上からの探鳥でしたが、今回は朝日新聞の取材がありました。去年もそうだったが、陸から見ると、視点が低く、迫力があつた。移動中のボートから見るので、動的な探鳥であった。ボートの移動につれて、水鳥の群れが飛び立つときや、着水する様子が壮観だった。特にコガモの群れ、ヒドリガモの群れ、カルガモの群れ等よく目についた。ミサゴが上沼、下沼に出てくれてラッキーだった。

当会の桑森、松本が鳥の説明を担当し、簡潔で分かりやすかった。好天に恵まれ、参加者

は楽しそうだった。

<認めた鳥> コブハクチョウ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、カワセミ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ミヤマガラス、ツグミ、ハクセキレイ 番外アヒル

<参加者> 一般参加 22名

環境レンジャー(間野吉幸、染谷迪夫)

我孫子野鳥を守る会(桑森亮、松本勝英)

朝日新聞記者 計27名

(記: 染谷迪夫)

亀成川を愛する会探鳥会探鳥指導

1/30 実施予定の亀成川を愛する会主催 亀成川流域里山散策シリーズ第13回「冬鳥を探そう」の探鳥指導に当会は協力する予定でしたが、天候不順のため中止になりました。

(記: 鈴木静治)

1月役員会報告

日時 1月10日(日) 13:00~16:00

場所 水の館 3階研修室

議事

1. 平成27年度の反省と平成28年度の活動に向けて

平成27年度の諸活動の反省を踏まえ、事務局から提案した28年度事業活動の重点ポイントについて検討し、次の通り決定しました。

なお、この内容は28年度事業計画案として4月に開催される28年度定期総会に提案されることとなります。

(1) ホームページの改善、今後のあり方について検討します。

(2) 会の様々な活動やイベントを通して積極的に会員を募集するなど、会員を増やす活動を推進します。

(3) 各種行事に多くの一般会員の皆さんが参画できるよう声掛けを行うなど、一層活気ある活動、事業運営をめざします。

す。

(4) 当会活動の原点である探鳥会を更に魅力的なものとするため、新たな探鳥先の検討、開拓を進めます。

2. バードウォッチング講演会対応について
2月20日(土)に開催するバードウォッチング講演会について、準備状況を確認し、必要な対応と担当等を決定しました。

3. ほーほーどり249号掲載予定記事
会報249号の掲載記事について、資料に基づき検討し、執筆担当等を決定しました。

4. 第3四半期会計報告
会計担当が資料に基づき報告し、異議なく了承されました。

5. 第17回「野鳥サロン」について
3/26(土)の午前中に水の館研修室で実施します。内容については担当幹事が検討中で、詳細が決まり次第周知されます。

6. 2016年度上期行事「三番瀬探鳥会」の日程変更について

三番瀬探鳥会の日程について、8月28日(日)から9月4日(日)に変更することを決定しました。なお、この探鳥会は、友好団体の「千葉県野鳥の会」と合同で実施します。

7. 報告事項

以下の事項が報告されました。

JBF第5回実行委員会の概要

対外対応状況等

手賀沼のナガエツルノゲイトウ調査報告

芋煮会実施報告

メーリングリスト配信エラーの原因と対策

「手賀沼周辺の鳥たち」タスク進捗状況

事務局の外部事務処理状況

8. その他

千葉県行徳野鳥観察舎が耐震性の問題から昨年末に休館となりましたが、このことに対する当会としての姿勢、対応を議論し、当会としては、観察舎の再開と存続を支援するため、メーリングリストを活用し、千葉県当局への意見投稿とネット署名を会員に呼び掛けることとしました。 以上

鳥 だ よ り

今回の鳥だよりでの初認情報は次のとおりです。

ヨシガモは11月29日で昨年よりは4日早いですが、その前の3年間は11月初~中旬でしたので、ここ2年は初認時期が遅くなっています。ミコアイサは11月30日で、昨季は年明けの1月2日とかなり遅かったのですが、例年の12月初旬より少し早い初認でした。ミミカイツブリが11月29日に初認され、手賀沼では2012年の2月以来の観察例でした。手賀沼では冬場によく観察されるハイロチュウヒの今季の初認は12月12日で、例年は11月中~下旬の初認時期ですので、少し遅い初認となっています。

終認情報：前回の鳥だよりでお知らせできませんでしたでしたが次の2種が終認となりました。

ツツドリ 10月3日(手賀の丘公園)、ヨシゴイ 10月13日(手賀沼遊歩道・岡発戸新田地先)

- | | |
|---|---|
| 11.21 [光ヶ丘 廣池学園] ツミ(1) 9:28、
体育館上空からゴルフ場上空を旋回し北
北西方向に移動 飯泉仁 | 11.29 [遊歩道(染井入落し)] ミカイツブリ(1)
水面移動 桑森亮・松本他 |
| 11.22 [中峠] ノリ 松本勝英 船津登 | 11.30 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(5) |
| 11.22 [中峠] ヌナシ 松本勝英 11.30 [片山新田] ミサコ(1) 下沼上空を飛
ぶ 船津登 | 11.30 [片山新田] チュウヒ(1) 杭に止まりそ
の後葦原を飛ぶ 船津登 |
| 11.22 [上沼] チュウヒ(1) 低空を飛翔
吉田隆行 11.30 [上沼] ハイタカ(1) 上空を旋回
吉田隆行 | 11.30 [上沼] ミコアイサ(1) 沼中央で盛
んに潜り採餌(初認) 吉田隆行 |
| 11.22 [柏学園(中央区)] ツグミ 3+桜の枝で
鳴いていた 吉田隆行 12.01 [上沼 葦原] ベニマシコ(1) 鳴き
ながら葦の穂や茎を廻っていた
吉田隆行 | 11.23 [手賀沼周辺] チュウヒ(1) 飛翔
中根忠 12.02 [大森] ヒ(2) 電柱、電線にとま
る 鈴木静治 |
| 11.24 [片山(手賀の丘公園)] アカガラ(1) ド
ラミングをする 船津登 12.02 [我孫子高の沖] 材木(1) 植生帯の
杭で静止 野倉元雄 | 11.24 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(5)
船津登 12.04 [岡発戸・都部] ベニマシコ(2) 草に止
まる 船津登 |
| 11.25 [遊歩道(岡発戸新田地先)] ヒ(2)
鳴きながら旋回飛翔 桑森亮 12.04 [上沼] ミサコ(1) 飛翔、採餌
吉田隆行 | 11.26 [戸張 戸張地区公園] シメ(1) 木の
天辺に止まった(初認) 吉田隆行 12.04 [岡発戸新田] ヒ(3) 田の上空を
滑空、時々鳴く 鈴木静治・船津登・百瀬喬 |
| 11.27 [遊歩道(岡発戸新田地先)] ヒ(1)
低木の上で鳴く 桑森亮 12.04 [岡発戸新田] ノリ(1) 田の上空を
飛ぶ 鈴木静治・船津登・百瀬喬 | 11.27 [柏の葉第2調整池] ヨシガモ 2+泳い
でいた 吉田隆行 12.05 [江蔵地] ベニマシコ(1) 枯れ木から鳴
きながら飛ぶ 鈴木静治 |
| 11.29 [遊歩道(染井入落し)] オドリ(4)
3 1が水面移動 桑森亮・松本他 12.05 [江蔵地] ヒ(1) 河原上空を飛ぶ
鈴木静治 | 11.29 [相島] チョウゲンボウ(1) 田の上を低
空で飛ぶ 鈴木静治 12.07 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(5) |
| 11.29 [発作] ハヤブサ(1) 田上を飛ぶ
鈴木静治 | |
| 11.29 [別所] ヨシガモ(17) 池の中を泳ぎ採
食(初認) 鈴木静治 | |
| 11.29 [別所] シメ(1) 森の大木の上に止ま
り鳴く(初認) 鈴木静治 | |

- 船津登 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.07 [上沼] フト(1)若鳥 飛翔、採餌 吉田隆行 12.12 [片山] ヒ(1)12:35、上空を鳴きながら旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.07 [上沼] ハブサ(1)若鳥 96 鉄塔に止まっていた 吉田隆行 12.12 [片山] ヤガラ(1)12:47、鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.07 [桜広場沖] フト(1)東から西へ飛翔 野倉元雄 12.12 [片山新田先手賀沼] ハイフト(1)14:38、葦原の際を飛翔(初認) 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.07 [桜広場沖] 材効(1)東から西へ飛翔 野倉元雄 12.12 [箕輪新田先手賀沼] ミゴ(1)14:54、水面の杭で休んでいた 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.07 [手賀沼公園沖] ミゴ(1)沼の杭の上で静止 野倉元雄 12.12 [手賀沼] ミゴ(1)上沼 1 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 12.08 [下沼田] フウグ(1)農道の電線に止まる 鈴木静治 12.12 [手賀沼辺] トビ(1)下沼 1 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 12.08 [戸張新田] ヘコシコ(2)葦原の中で枯れ草に止まる 船津登 12.12 [江蔵地] ハブサ(1)河原の上空を直線状に飛ぶ 鈴木静治
- 12.08 [大井新田] アスイ(1)枯れ草から飛ぶ 船津登 12.12 [江蔵地] ヒ(2)上空高く旋回しながら飛ぶ 鈴木静治
- 12.08 [千間橋] ミコイ(1)川岸近くを泳ぐ 鈴木静治 12.12 [我孫子高の沖] 材効(1)植生帯の杭で静止 野倉元雄
- 12.09 [遊歩道(上沼田地先)] ミゴ(1)飛翔から杭上に降りる 桑森亮 12.12 [桜広場沖] ヒ(1)西から東へ旋回しながら飛翔 野倉元雄
- 12.09 [遊歩道(上沼田地先)] ヒ(1)飛翔 桑森亮 12.12 [片山新田先手賀沼] ミコイ(4)14:11、水面で潜水を繰り返していた 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.09 [上沼田] ノリ(1)電柱に止まるも、ハブトガラのヒンクにあい、飛び立つ 鈴木静治 12.12 [手賀沼] ミコイ(10)上沼4,下沼6 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 12.09 [泉村新田] ノリ(1)田、森の上を旋回する 鈴木静治 12.13 [下沼田] ノリ(1)田の中の電柱に止まる 鈴木静治
- 12.09 [中沼田] フウグ(1)田の上を飛び電柱に止まる 鈴木静治 12.13 [発作] フト(1)河原の葦原上を低空飛翔 鈴木静治
- 12.09 [中沼田] ヒ(1)畑、田の上を飛ぶ 鈴木静治 12.14 [遊歩道(曙橋)] ヒ(2)飛翔 桑森亮
- 12.10 [発作] フウグ(1)高い高圧電線に止まる 鈴木静治 12.14 [片山(手賀の丘公園)] ヤガラ(4) 船津登
- 12.10 [発作] フト(1)葦原上を低空で飛翔 鈴木静治 12.15 [発作] ヒ(1)川、田の上を飛ぶ 鈴木静治
- 12.12 [千間橋] フウグ(1)13:35、水田上空でハリングし餌を物色 飯泉仁・飯泉久美子 12.15 [発作] ノリ(1)田の上空でハブガ2羽にヒンクされる 鈴木静治
- 12.12 [千間橋] フウグ(1)13:58、上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子 12.16 [古戸] ヘコシコ(3)川岸の柳の梢に止まる 鈴木静治
- 12.12 [大井新田先手賀沼] フウグ(1)15:37、県道沿いの電柱にとまり、何度も田んぼで小動物を捕食 飯泉仁・飯泉久美子 12.16 [江蔵地] ミゴ(1)葦原、川の上空を飛翔 鈴木静治
- 12.12 [大井新田先手賀沼] ミゴ(1)15:46、水面の杭にとまり魚を食べていた 12.17 [泉村新田] 材効(2)農道で採食 船津登
- 12.17 [片山(手賀の丘公園)] トイダキ(1)

- エナガの群の近く、松の木で動く
船津登
- 12.17 [片山(手賀の丘公園)] アカガラ(1)林
の中で鳴く 船津登
- 12.17 [桜広場沖] チュウ(1)東から西へ飛
翔 野倉元雄
- 12.18 [市民農園の沖] ミカ(1)沼の杭の
上で静止 野倉元雄
- 12.21 [鷺野谷新田] チョウゲンボウ(1)電柱
に止まる 船津登
- 12.21 [上沼遊歩道] ヘニシコ(1) 芦中
段以下を飛び廻っていた。 吉田隆行
- 12.22 [ヒドリ橋(湾処)] マガモ(4)湖面を
泳ぐ(初認) 吉田隆行
- 12.22 [遊歩道桜広場沖] ミカ(1)西から
東に飛翔 野倉元雄
- 12.24 [ヒドリ橋] ハブサ(1)鉄塔 96 に止
まる 吉田隆行
- 12.25 [上沼] チュウ(1)低空を飛翔
吉田隆行
- 12.26 [岡発戸谷津] ヘニシコ(6)2羽は水
路沿いの低木に、4羽はセウカアガチの群
生地で移動、採食 桑森亮
- 12.26 [遊歩道(岡発戸新田地先)] ヒ(2)
杭上1、飛翔1 桑森亮
- 12.26 [都部] チョウゲンボウ(1)飛んで斜面
林に飛び込む 桑森亮
- 12.26 [都部谷津] ノリ(1)ヤマガラス 30羽
に絡まれる 桑森亮
- 12.26 [亀成] チョウゲンボウ(2)鳴きながら
田の上空を旋回する 鈴木静治
- 12.26 [亀成] ヒ(1)農道の電柱に止ま
る 鈴木静治
- 12.26 [古新田] ノリ(1)森の木に止まる
鈴木静治
- 12.26 [別所] ノリ(1)田の上を滑空
鈴木静治
- 12.26 [高野山] ハイカ(1)飛翔採餌
吉田隆行
- 12.26 [上沼遊歩道] チョウゲンボウ(1)飛翔
吉田隆行
- 12.26 [宗甫] ヨシガモ(6)他のカモの群れ
の端で泳ぐ 鈴木静治
- 12.27 [遊歩道桜広場近] チュウ(1)沼を東
西へ飛翔 野倉元雄
- 12.29 [片山(手賀の丘公園)] ノリ(2)上空
を飛ぶ 船津登
- 12.29 [片山(手賀の丘公園)] 物イダキ(1)
エナガの群の近く、杉の木で動く 船津登
- 12.29 [片山(手賀の丘公園)] アトリ(6)地上
で採食 船津登
- 12.29 [上沼] チュウ(1)低空を飛翔、採餌
の様子 吉田隆行
- 12.30 [ヒドリ橋] ハブサ(1)鉄塔 96 に止
まる 吉田隆行
- 12.31 [手賀新田] ノリ(1)電柱に止まる
鈴木静治
- 12.31 [手賀新田] ノリ(1)上空を飛び塘
に帰る 鈴木静治
- 1.01 [発作] ノリ(2)11:35、田んぼの中
で身を潜めていた 飯泉仁
- 1.01 [片山] アトリ(3)13:23、地面で餌を
捕食していた 飯泉仁
- 1.01 [片山] ヤマガラ(1)13:37、鳴きなが
ら移動 飯泉仁
- 1.01 [片山新田先手賀沼] ヒ(1)14:22、
上空を飛翔 飯泉仁
- 1.01 [箕輪新田先手賀沼] ミカ(1)15:05、
水面の杭に止まっていた 飯泉仁
- 1.02 [古戸] ヘニシコ(2)柳の小さい芽を
啄む 鈴木静治
- 1.02 [江蔵地] ヘニシコ(1)葦原を飛ぶ
鈴木静治
- 1.02 [ヒドリ橋] ハブサ(1)鉄塔 96 に止
まる 吉田隆行
- 1.03 [曙橋] ミカ(1)12:59、上空を飛翔
飯泉仁・飯泉久美子
- 1.03 [中沼田] ハブサ(2)15:20、鉄塔に
飛来 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.03 [中沼田] チョウゲンボウ(1)15:20、鉄
塔に飛来 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.03 [布瀬] ノリ(1)14:08、電柱の天辺
に飛来 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.03 [布瀬] チョウゲンボウ(1)14:10、飛翔
し移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.03 [片山] ヤマガラ(1)11:54、鳴きなが
ら移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.03 [片山新田] ヘニシコ(2)葦原の中で
枯れ草に止まる 船津登
- 1.03 [上沼遊歩道] ヘニシコ(1) 葦原の
中の小さな木の枝で鳴いていた。 吉田隆行
- 1.04 [岡発戸谷津] ヘニシコ(1) が低木
から草叢へ 桑森亮
- 1.04 [手賀沼近辺] ノリ(1)農耕地上空を

- 帆翔、索餌。
- 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 1.05 [片山(手賀の丘公園)] ノリ(1)上空を飛ぶ
- 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 1.05 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(4)
- 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 1.05 [手賀沼公園沖] ミサゴ(1)杭の上で静止 野倉元雄
- 1.06 [片山(手賀の丘公園)] アカハラ(1)林の中から鳴き声、ドラミングが聞こえるが姿は確認できず 船津登
- 1.07 [第2機場] ノリ(1)餌を探していた 吉田隆行
- 1.08 [手賀沼公園沖] ミサゴ(1)杭の上で静止 野倉元雄
- 1.09 [手賀沼] ミサゴ(1)上沼1
- 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 1.09 [手賀沼辺] ヒ(2)上沼2
- 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 1.09 [手賀沼辺] フクロ(3)上沼1,下沼2
- 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 1.09 [手賀沼辺] フクロ(1)下沼1
- 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 1.09 [手賀沼辺] ハブサ(2)上沼2
- 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 1.09 [上沼] フクロ(1)低空を飛翔、採餌の様子 吉田隆行
- 1.11 [戸張新田] ハブサ(1)鉄塔95に止まる 吉田隆行
- 1.14 [大井新田] アリスイ(1)葦原より飛び木に止まる 船津登
- 1.14 [上沼] フクロ(1)低空を飛翔、採餌の様子 吉田隆行
- 1.15 [片山新田] ベニマシコ(1)葦原の中で枯れ草に止まる 船津登
- 1.15 [上沼] フクロ(1)低空を飛翔、採餌の様子 吉田隆行
- 1.17 [つくしが丘3丁目] ハブサ(1)10:43、白いカハトを追尾しながら出現 飯泉仁
- 1.17 [新柏] フクロ(1)10:25、東京電力の鉄塔の天辺に降り立つ 飯泉仁
- 1.17 [中原] ヤマガラ(2)9:51、水源地隣接の林を鳴きながら移動 飯泉仁
- 1.17 [上沼] フクロ(1)低空を飛翔、採餌の様子 吉田隆行
- 1.18 [遊歩道若松上空] ヒ(1)巡回

野倉元雄

- 1.19 [片山(手賀の丘公園)] 材カ(1)久しぶりの観察、枯木に止まる 船津登
- 1.19 [片山(手賀の丘公園)] ノリ(1)木に止まる 船津登
- 1.19 [片山(手賀の丘公園)] フクロ(1)上空を飛ぶ 船津登
- 1.19 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(2) 船津登

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アオジ、アカゲラ、アカハラ、アトリ、アリスイ、イソシギ、ウグイス、ウソ、エナガ、オオジュリン、オオタカ、オオバン、オカヨシガモ、オシドリ、オナガ、オナガガモ、カイツブリ、カシラダカ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、カンムリカイツブリ、キクイタダキ、キジ、キジバト、キセキレイ、キンクロハジロ、クイナ、クサシギ、コガモ、コクマルガラス、コゲラ、コサギ、コブハクチョウ、シジュウカラ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、スズガモ、スズメ、セグロカモメ、セグロセキレイ、セッカ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、タヒバリ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ツグミ、ツバメ、ツミ、トビ、トラツグミ、ノスリ、ハイイロチュウヒ、ハイタカ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハジロカイツブリ、ハブサ、バン、ヒドリガモ、ヒバリ、ヒヨドリ、ピンズイ、フクロウ、ベニマシコ、ホオアカ、ホオジロ、ホシハジロ、マガモ、ミコアイサ、ミサゴ、ミミカイツブリ、ミヤマガラス、ムクドリ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ユリカモメ、ヨシガモ、ルリビタキ

計 86 種

<番外種>

アヒル、カワラバト、コジュケイ、バリケン

今回の投稿者の総投稿件数

飯泉仁	312
飯泉仁・飯泉久美子	94
北崎正典	3
桑森亮	81
桑森亮・松本他	2
桑森亮・船津登・金子雅幸 ・田中功	91
古出洋子	5

鈴木静治	251	船津登	157
鈴木静治・船津登・間野吉幸		松田幸保	2
・金子雅幸	26	松本勝英	16
鈴木静治・船津登・百瀬喬	19	吉田隆行	61
中根忠	13	総計	1222
野倉元雄	88		(浅井 久)
畠中暁美	1		

【会員だより】(ab-yacho より)

【ツグミを初認】

2015.11.17 百瀬喬

昨日、北新田2号排水路で、スズガモもしくはコスズガモと思える鳥が1羽、青山水門近くの畑で、9羽のタゲリを確認、さらに金谷堰近くの田圃には70羽前後のタゲリの群れが舞い降りました。

また午後3時すぎに再度行ってみました。タゲリ殿ではありませんでしたが、電線に留まるカワラヒワの群れの中に、3羽のツグミを確認しました。僕にとっては今シーズン初です。

【キジの求愛行動について】

2015.11.19 千葉洋

本日のサロンで話題になったキジの求愛行動に関する写真が手もとにありましたので、ご参考までに報告いたします。撮影日は今年10月5日、場所は北柏ふるさと公園のカワセミの池の隣です。「求愛」というと春とばかり思っておりましたが、10月のプロポーズもあるのでしょうか？それともこれは珍しいケースなのでしょうか？

この後、嫌な顔をして(?)遠ざかるメスをオスが追うのを諦めたように記憶しています。春に向けての練習だったのでしょうか。

【キジの求愛行動について】

2015.11.20 田丸喜昭

「甲斐性のある」オスは、1-10羽ほどのメスを引き連れて歩いているのを見かけます。一方、「甲斐性のない」オスは、ケーン ケーンと鳴いて羽ばたいても、なかなかメスが近寄ってきてくれません。オスが子育てをするタマシギと違い、キジは、メスが子育てを専門にするようで、山の中で、何羽かのひなが一列に縦に並んでメス親の後について行進しているのを見かけます。以前、東北の山道を運転しているときに、車の前を、メス親が12羽のひなを従えて、ゆっくりと道を横切るのを見かけたことがあります。私は、車をとめて、行進が終わるのを待ちました。一度、手賀沼の定例探鳥会で、親キジのオスとメスが1-2羽のひなの周辺にいるのを見かけたことがあります。

【10~11月の観察記録から】

2015.11.20 桑森亮

このひと月の特記事項は10/27の朝にホシハジロやマガモが中心のカモの大群が見られたことです。月間を通しては、カンムリカイツブリが目立ち、小群をいくつか見ることがあります。

また、アリスイヤカシラダカも見られました。オオジュリンは葦原の中から声は聞こえますが、姿はなかなか見れません。ホオジロの秋の囀りがまだ聞こえます。

【ジョウビタキの攻撃】

2015.11.24 古出洋子

例年訪れていたジョウビタキが、昨年は見かけなかったのが、さみしく思っておりましたが、11/22 ついに目の前に現れました。

ダイニングの東側のグリーンカーテン用のパイプに止まってはどこかへ飛んで行ってまた止まりを繰り返していたので、カメラに収めたり観察したりと喜んでいたのですが、隣の部屋にいる時、ガラスにコツコツと当たるような音がするので、見ると例のジョウビタキ()がしきりにガラスに攻撃をしているのです。最初のうちは、覗くとどこかへ行ってしまい暫くは来ませんでした。昨日から今日と朝からひっきりなしに攻撃を続けており、今度はジョウビタキの嘴がどうにかならないか、またガラスが割れはしないかと心配になって来ました。

【ジョウビタキの攻撃】

2015.11.24 松田幸保

もう10年も前になりますが、ジョウビタキが庭の軽自動車のドアミラーをしきりに攻撃していました。足場が悪いのが気の毒になり、足場のよい場所に鏡をセットしたらそちらを攻撃しました。正面に姿が写っているはずなのに、飛び上がって上の方にぶつかっていました。

数年前に有名だった奥多摩のヤマセミは、料理屋のベランダに止まってからしきりに窓ガラスにぶつかるのを日課にしていました。自分の姿が映っていたのだと思いますが、脳震盪を起こすことはなかったようです。

【ミヤマガラス】

2015.12.6 松田幸保

塀入り前のミヤマガラスが我孫子自動車教習所前の電線におよそ300羽が止まっていました。コクマルもいましたが、白色型は確認できませんでした。5時ごろ一斉に飛び立って、奥の林に消えました。

【中峠にシロハラ参上!、プラス至福】

2015.12.29 松本勝英

昨日、昼前、やっとシロハラに出会いました。重なった落ち葉の所為で眼前でしばらく留まってくれました。これまでは声だけだったので、初めての「現認」です。

今日の昼はエナガの一群が我が家周辺(直近)に来ました。メジロ、シジュウカラとの混群でしたが、総勢15羽+でした。概算では、メジロ2、シジュウカラ2でしたからエナガ11羽+です。エナガ数羽が我が家の庭のギンモクセイ(剪定中途)にも来てくれました。約20分、眩しくも至福の時でした。

【12~1月の観察記録】

2016.1.20 桑森亮

- ・年始明けから曙橋付近でタゲリの飛翔を、上沼田野球場と少年野球場の芝生での採食を見かけます。
- ・岡発戸谷津でベニマシコが時々見られるようになってきました。
- ・1/5のウォーキング途中で、東我孫子の某所の小路上から民家の垣根下でアカハラを見つけ、隣の空地の低木にツグミ様の鳥が来て止まったので、観察するとシロハラが、その下の草地にキジバトがと思って見るとトラツグミが観察できました。同じ立ち位置から3種のツグミ類が見られて、得した気分で帰りました。

【手賀沼にオオハクチョウ飛来】

2016.1.21 野倉元雄

今朝9時半前後に手賀沼、高野山新田(桜の広場)沖にオオハクチョウが飛来しました。私が見たのは4羽の群れと単独の1羽ですが、居合わせた同好の士は飛来して着水した時から見ているそうで、4羽と6羽の群れであったようです。幼鳥と思われる灰色の個体が2羽含まれていました。(翌日、上記「単独の1羽」はコブハクチョウの誤認訂正あり。)

しばらく遊泳し、ハスの群落の辺りに行き、その後南西方面に飛翔しました。

【オオハクチョウとコハクチョウ】

2016.1.21 松田幸保

夕方、私がハス群落の展望台を訪れた時は、ハス群落の中に幼鳥を交えたオオハクチョウ4羽とコハクチョウ2羽がいました。コブハクチョウとの小競り合いではオオハクチョウが勝ちましたが、コハクチョウは圧力に負けて上沼の方に飛んで行きました。

会からのお知らせ

< 新入会員紹介 >

佐藤貴子、マクノートン・アンドリュース（夫）、啓子（母）一家（柏市在住）

< 年会費納入のお願い >

平成28年度の会費納入の時期が来ました。郵便局の振込用紙を同封しましたので、4月11日までに払い込みをお願いします。なお、例会（3/13、4/10）、総会（4/10）などで会計に直接お支払頂く場合は振込用紙を破棄してください。
年会費 2,000 円（大学・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員無料）

< DVD 配布のお知らせ >

本年度も、一年間の当会の活動の記録をまとめた DVD を作成中です。
この DVD には、探鳥会や野鳥サロン、映写会、各種イベントへの参加、懇親会や芋煮会など、1年間の当会の全ての活動が写真を加え、余すところ無く記録されています。
ご希望の方は、担当幹事相良、北崎までお申込みください。総会以降実費（@300 円）引き換えでお渡しいたします。（但し、会員限定です。）

ほーほーどり No. 249 （2016年3～4月号）

発行 2016年3月1日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、古出洋子、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270 1143 我孫子市天王台 2-15-17 桑森亮 Tel : 04-7182-3149

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140 - 2 - 647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000 円（大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料）